

芸 術

1年	音楽Ⅰ
1年	美術Ⅰ
1年	書道Ⅰ
2年	音楽Ⅱ
2年	美術Ⅱ
2年	書道Ⅱ
2年	デッサン入門
2年	合唱Ⅱ
3年	ピアノ伴奏法
3年	合唱Ⅲ
3年	音楽理論
3年	受験デッサン
3年	平面及び立体構成
3年	硬筆習字Ⅲ

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 全コース		芸術	音楽 I	選択必修	2単位	大森久美子・尾又好美・鈴木敬子
教科書	音楽之友社「ON!1」					
副教材	プリント					
授業のねらい	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、独創的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽が好きな生徒、音大・保育関係へ進学希望者は特に履修を勧めます。 ・歌唱と器楽では多くの実技課題が提示されます。意欲的・主体的に取り組みましょう。 ・器楽では学校の備品の楽器を使用します。大切に取り扱いましょう。 					
評価方法	授業内での実技テスト(「歌唱」「器楽」)、筆記テスト、提出物、授業態度を総合的に評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	歌唱: 発声 校歌指導	斉唱曲をのびのびと歌わせ発声法を習得、読譜力の向上 校歌指導を通して愛校心を育てる。			
	5月	器楽: 三線	沖縄伝統楽器三線の習得度 和楽器についての仕組みや歴史、奏法の理解			
	6月	歌唱: 斉唱曲、外国語曲 鑑賞: 世界の民族音楽	のびのびとした豊かな発声で歌えたか 世界の民族音楽への関心、理解度			
	7月	オーケストラについて	管弦打楽器の仕組み、奏法の理解度			
2 学 期	9月	歌唱: 斉唱曲	のびのびとした豊かな発声で歌えたか 正確なリズムと音程で歌う事が出来たか			
	10月	鑑賞: 劇音楽について ミュージカル鑑賞	作曲者・作品への理解度 音楽と演劇、舞踏、美術など他の芸術との結びつきについて			
	11月	歌唱: 斉唱曲	のびのびとした豊かな発声で歌えたか 正確なリズムと音程で歌う事が出来たか			
	12月	器楽: 箏	箏の習得度 和楽器についての仕組みや歴史、奏法の理解			
3 学 期	1月	歌唱: 外国語曲	歌詞の心情を把握し表現することが出来たか			
	2月	器楽: コードネームについて	キーボードを使用してコードネームの理解 右手はメロディー、左手はコードで伴奏をつけて曲を弾くことが出来たか			
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 全コース		芸術	美術 I	選択必修	2単位	菅原英雄
教科書	日本文教出版「高校美術1」					
副教材	プリント、参考作品					
授業のねらい	観察によって様々な情報を受け止める力を養い、それらを自分のフィルターを通して表現する力を身につける。同時に作品を完成させる喜び、達成感を体験する。					
学習上の留意点	自然物を主な対象として、人間が安易に創造できない自然の持つバランスや生命力を感じ、いかに表現するかを模索する。モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、総合的な観察力を身につける。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。 (年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力も評価する。)					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	「教科書の中のお気に入り作品を探そう」鑑賞模写	鑑賞では、なぜ自分がその作品を選んだかを掘り下げ、自分探しの手がかりとする。			
	5月	「立方体制作及び光と陰影を学ぶ」鉛筆素描	モチーフの形を観察によってとらえ、どのように表現していけば、「らしく」なるのかを考え、学ぶ。			
	6月	「真珠の耳飾りの少女」素描模写 「校内風景画」(山本二三さん作) 水彩模写	モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。			
	7月					
2 学 期	9月	「日傘をさす女(モネ作)」水彩模写	モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。			
	10月	「樹のある風景を描く」水彩				
	11月	「季節や動植物をテーマにしたペーパーステンド制作」デザイン	素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。			
	12月					
3 学 期	1月	「ゴム版画制作」版画	テーマに基づき、教材の特性を生かし、工夫をして表現する。			
	2月	「東野イメージポスター制作」デザイン	自ら情報を集め整理し、自分の思う東野をポスターとして表現する。情報収集や構成、色使いの工夫を心がける。			
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 全コース		芸術	書道 I	選択必修	2単位	坂本浩一
教科書	教育図書「書 I」					
副教材						
授業のねらい	毛筆の基本的な筆遣いを修得し、文字の造形や線の美に触れる。					
学習上の留意点	半紙・墨液は各自準備していただくが、詳細は最初の授業で伝達します。					
評価方法	授業での取り組み(真剣に何枚も授業時間内に練習できるか等)と、半紙作品の技術評価と出席の平常点も考慮します。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	漢字平仮名交じりの課題	平仮名・漢字(楷書)の基本的な筆遣いの習得。			
	5月	漢字平仮名交じりの課題 漢字の課題				
	6月	漢字の課題				
	7月					
2 学 期	9月	漢字・平仮名交じりの課題	平仮名・漢字(楷書)の基本的な筆遣いの技術を高める。			
	10月	漢字平仮名交じりの課題				
	11月	漢字の課題				
	12月					
3 学 期	1月	書初めの課題 漢字(楷書)の課題	半紙作品の完成度を高める。			
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コース		芸術	音楽Ⅱ	選択必修	2単位	大森久美子・尾又好美・鈴木敬子
教科書	教育出版「音楽Ⅱ Tutti」					
副教材	プリント					
授業のねらい	音楽の幅広い活動を通して創造的な表現力・鑑賞能力を伸ばすとともに、世界の文化・芸能を吸収し、平和を愛する心情を養う。					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽が好きな生徒、音大・保育関係へ進学希望者は特に履修を勧めます。 ・歌唱と器楽では多くの実技課題が提示されます。意欲的・主体的に取り組みましょう。 ・器楽では学校の備品の楽器を使用します。大切に取り扱いましょう。 					
評価方法	授業内での実技テスト(「歌唱」「器楽」)、筆記テスト、提出物、授業態度を総合的に評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	歌唱: 発声、原語曲、鑑賞曲		発声に気を付け、のびのびと歌うことが出来たか 原語や斉唱曲、鑑賞曲で表現力を身につけさせる。		
	5月	校歌指導 器楽: ギター		校歌指導を通して愛校心を育てる。 コードネームの理解とストローク奏法の習得		
	6月	鑑賞: 劇音楽について		ミュージカル、オペラ、バレエ等の舞台芸術の理解		
	7月					
2 学 期	9月	歌唱: 発声、原語曲、鑑賞曲		原語や斉唱曲、鑑賞曲で表現力を身につけさせる。		
	10月	鑑賞: 世界の民族音楽(アメリカ大陸)		海外修学旅行を意識し、世界の民族音楽への理解を深める。		
	11月	器楽: ハンドベル		リズム感、協調性を育てる。 ハンドベルアンサンブルの習得度		
	12月					
3 学 期	1月	歌唱: 二部合唱		外国曲の二部合唱で、歌詞の意味や背景にある情景、心情に関心を持たせ表現させる。		
	2月	鑑賞: クラシック作品		作曲者の生涯、作品の背景等、クラシック作品を通して豊かな感性を育てる。		
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コース		芸術	美術Ⅱ	選択必修	2単位	菅原英雄・細川貴司
教科書	日本文教出版「高校美術2」					
副教材	プリント、参考作品					
授業のねらい	感じる事、考えた事、観察によって発見した事を第三者にその思いを伝えることを目標とし、同時に制作の喜び、感動を体験してもらいたい。					
学習上の留意点	自然物を主な対象物として、自然の持つダイナミズムや生命力を感じ観察を深め自分らしい表現を模索してゆく。モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、観察力を身につける。自ら情報を集め、整理し、自分の思いを表現する構成を行う。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。 (年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。)					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	「立方体を持った手を描く」鉛筆素描	モチーフの形を観察によってとらえ、どういう風に表現していけば、「らしく」なるのかを考え模索する。			
	5月	「水辺のある風景(シスレー作)」を描く 水彩模写	モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。			
	6月	「モナリザ(レオナルド・ダビンチ作)」を描く 水彩模写				
	7月					
2 学 期	9月	「マッチ棒工作」	素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。空間や量を意識した表現を試みる。			
	10月					
	11月	「スクラッチボード制作」	素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。			
	12月					
3 学 期	1月	「修学旅行の絵画制作」(水彩)	総合的な学習の時間などで学んできて、現地に赴いた修学旅行の思いを伝える作品をつくる。構成、色使い表現方法に工夫し、伝えたい事を分かりやすく表現する。			
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コース		芸術	書道Ⅱ	選択必修	2単位	坂本浩一
教科書	教育図書「書Ⅱ」					
副教材						
授業のねらい	平仮名や漢字の行書に触れ、より深く文字の造形と毛筆の線の美を鑑賞する。					
学習上の留意点	半紙・墨液は各自準備していただくが、詳細は最初の授業で伝達。					
評価方法	授業での取り組み(真剣に何枚も時間内に練習出来るか等)と、半紙作品の技術評価と出席の平常点も考慮します。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	4月の課題 平仮名と行書		平仮名と行書の筆遣いに触れる。		
	5月	行書の課題		行書の筆遣いの習得。		
	6月	行書の課題				
	7月					
2 学 期	9月	平仮名と行書		行書の筆遣いのより高度な技術の習得。		
	10月	行書の課題				
	11月	行書の課題				
	12月					
3 学 期	1月	書初めの課題 行書の課題		半紙作品の完成度を高める。		
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コース		芸術	デッサン入門	選択	2単位	菅原英雄
教科書	なし					
副教材	プリント、参考作品					
授業のねらい	難しいと思われているデッサンを、分かりやすく基礎から学び定着させる。デザイン的な課題制作を通して、他者への表現を考えさせる。自己表現の可能性を広げ描く楽しさを体験する。					
学習上の留意点	美術、デザイン系への進学希望者は、授業だけではなく放課後や自宅学習でもデッサンに取り組むようにして下さい。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。 (年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。)					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	「静物デッサン」		モノが複数置かれた状態の空間観察、表現を学ぶ		
	5月	「文化祭のポスター制作」		文化祭のポスターやパンフレット表紙を対象に人に伝える事を意識しながら作品制作する。		
	6月	「飲み物のポスター制作」		既成の飲料を対象に、色と形で他者にいかに伝えるかを考えながら制作する。		
	7月					
2 学 期	9月					
	10月	「読書感想画制作」		本の感想を対象にして、平面にいかに表現するのかを構成を意識した表現を学ぶ。感想画コンクールへの出品。		
	11月					
	12月					
3 学 期	1月	「絵本制作」		絵本制作のための物語を作り、それに応じた絵や色や形を考え表現する。		
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コース		芸術	合唱Ⅱ	選択	2単位	鈴木敬子
教科書	合唱曲集					
副教材	プリント					
授業のねらい	声楽に関する基礎的な技術を習得させ、音楽性豊かな表現の能力を養う。 合唱を通して豊かな発声、表現力を身につけハーモニーの美しさや響きを感じ取らせる。 楽譜を読み取る力をつけさせ、細かな曲の背景・情景を表現出来る能力を養う。					
学習上の留意点	秋に行われる高校音楽祭に向けて、ハーモニーの美しさや響きを感じ、豊かな表現力を身につけていきたいと思います。歌うことが好きな生徒は是非受講して下さい。					
評価方法	授業時間内に曲の音程やリズムの実技テストを行います。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	パート分け 発声		声の高さを1人ずつチェックしパートを決める。 姿勢、呼吸の仕方に注意させる。		
	5月	簡単な2部合唱曲		パートごとに音取り 合同練習		
	6月	3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習		パートごとに音取り 合同練習		
	7月					
2 学 期	9月	発声		姿勢、呼吸の仕方に注意させる。 ブレスや記号にも気を配り、ハーモニー作りを目指す。		
	10月	3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習		パートごとに音取り 合同練習		
	11月	3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習		歌詞の内容、意味を理解し表現させる。 暗譜をさせる。		
	12月			ステージマナー、鑑賞マナーについて徹底させる。		
3 学 期	1月	ハーモニー練習		パートの音をしっかりと取り、良い発声で声が出せているか。		
	2月	ア・カペラ		ピアノ伴奏なしでも歌えるように、パート練習に重点を置く。 合同練習		
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コース		芸術	ピアノ伴奏法	選択	2単位	鈴木敬子
教科書	ヤマハミュージックメディア「ピアノ伴奏入門」					
副教材	プリント使用					
授業のねらい	コードの仕組みや進行の仕方を理解し、ピアノ鍵盤を使って曲を豊かに表現する能力を育てる。楽譜を読み取る力をつけさせ、細かな曲の背景・情景を表現出来る能力を養う。					
学習上の留意点	ピアノ演奏に必要な要素を基礎から学びます。音楽大学や音楽関係のコース、保育士の進学を希望する生徒は積極的に受講して下さい。					
評価方法	授業時間内に実技テストを行います。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	ピアノ奏法基礎 コードの理解	指の使い方、楽譜の読み方について 長3度と短3度の和音、セブンスの作り方			
	5月	長調における主要三和音	ハ長調、ヘ長調、ト長調の理解 簡単な旋律に伴奏をつけ演奏する			
	6月	短調における主要三和音	イ短調、ニ短調の理解			
	7月		簡単な旋律に伴奏をつけ演奏する			
2 学 期	9月	移調	様々な調性に対する理解			
	10月	非和声音 ベース音	和声音と非和声音の理解 転回形とアルペジオ奏法、左手の奏法についての理解			
	11月	伴奏実践	メロディー譜に伴奏をつけ、演奏をする			
	12月	伴奏実践	メロディー譜に伴奏をつけ、演奏をする			
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コース		芸術	合唱Ⅲ	選択	2単位	大森久美子
教科書	合唱曲集					
副教材	プリント					
授業のねらい	声楽に関する基礎的な技術を習得させ、音楽性豊かな表現の能力を養う。 合唱を通して豊かな発声、表現力を身につけハーモニーの美しさや響きを感じ取らせる。 楽譜を読み取る力をつけさせ、細かな曲の背景・情景を表現出来る能力を養う。					
学習上の留意点	秋に行われる高校音楽祭に向けて、ハーモニーの美しさや響きを感じ、豊かな表現力を身につけていきたいと思えます。歌うことが好きな生徒は是非受講して下さい。					
評価方法	授業時間内に曲の音程やリズムの実技テストを行います。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	パート分け 発声	声の高さを1人ずつチェックしパートを決める。 姿勢、呼吸の仕方に注意させる。			
	5月	簡単な2部合唱曲	パートごとに音取り 合同練習			
	6月	3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習	パートごとに音取り 合同練習			
	7月					
2 学 期	9月	発声	姿勢、呼吸の仕方に注意させる。 ブレスや記号にも気を配り、ハーモニー作りを目指す。			
	10月	3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習	パートごとに音取り 合同練習			
	11月	3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習	歌詞の内容、意味を理解し表現させる。 暗譜をさせる。			
	12月		ステージマナー、鑑賞マナーについて徹底させる。			
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コース		芸術	音楽理論	選択	2単位	尾又好美
教科書	教育芸術社「音楽通論」					
副教材	コールユーブンゲン(プリント使用)					
授業のねらい	リズム、旋律、和声などの音楽の諸要素を正確に聴取し、楽譜を正確に読み取って表現する能力を育てる。「楽典」「聴音」「視唱」「視奏」によって、音楽性豊かな表現をするための基礎的能力を養う。					
学習上の留意点	音楽を演奏する上で、必要な要素を基礎から学びます。音楽大学や音楽関係のコースの進学を希望する生徒は積極的に受講して下さい。					
評価方法	授業時間内に「楽典」「聴音」「視唱」のテストを行います。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	導入 楽譜について、音符と休符		楽譜の読み方、書き方について 音符や休符の長さ、表現についての理解		
	5月	リズムと拍子		五線や様々な音部記号の理解 様々な拍子とその特徴について		
	6月	拍子と記譜 視唱		正しい記譜法について 8小節程度の簡単な旋律を視唱する。 正しい音程とリズムで歌唱できるようにする。		
	7月	作曲家と作品		音楽史における著名な作曲家の作品鑑賞		
2 学 期	9月	音程 移調と近親調		様々な音程についての理解 関係調や移調、転調に関する仕組み		
	10月	視唱		音階的進行、三和音の跳躍を中心とした視唱練習 各種音部記号の読譜を習得させる。		
	11月	和音、コードネーム 色々な記号、音階		和音の構成、コードの仕組み 速度や表現記号、様々な音階について		
	12月	視唱		4和音の跳躍、臨時変化音を中心とした視唱練習 コールユーブンゲンを用いて視唱の演習		
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コース		芸術	受験デッサン	選択	2単位	菅原英雄
教科書	なし					
副教材	プリント、参考作品					
授業のねらい	デッサンの魅力を知り、デッサンの基本や技法を習得したうえで、最終的には自己を表現することを模索してほしい。鉛筆等を使用して描き、幅広く観察する能力を養う受験に対応できる実力の基礎を身につける。					
学習上の留意点	美術、デザイン系への進学希望者は、授業だけではなく放課後や自宅学習でもデッサンに取り組むようにして下さい。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。(年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。)					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	「幾何形体デッサン」	幾何形体による、光と陰影の観察、表現を学ぶ			
	5月	「静物デッサン」	モノが複数置かれた状態の空間観察、表現を学ぶ			
	6月	「石膏像デッサン」	確実な基礎力と表現力を身につける。			
	7月					
2 学 期	9月	「風景デッサン」	校内の風景を題材にして、鉛筆素描により観察力や表現力を学ぶ。			
	10月	「静物デッサン」	どんな組み合わせのモチーフに対しても、対応できる実力を身につける。			
	11月					
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コース		芸術	平面及び立体構成	選択	2単位	細川 貴司
教科書	なし					
副教材	プリント、参考作品					
授業のねらい	画面や空間を形づくる上で大きな要素を占める構成を中心として平面及び立体作品制作を通して、構成のバランス、主と従などの関係を考え伝える事に重きを置いた作品制作をする。また他人の作品を鑑賞し、理解する力を身につける。					
学習上の留意点	美術、デザイン系への進学希望者は、授業だけではなく放課後や自宅学習でもデッサンに取り組むようにして下さい。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。(年間を通して作品の完成度では、構成本力、工夫、表現力を評価する。)					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	「遠近」をテーマに直方体と三角錐を使って立体感のある表現制作(平面構成)	色と形により与えられた課題に対して効果的な表現を模索する。			
	5月					
	6月	「色紙を切りテーマにあわせた平面構成」	色面と描写によりテーマによりふさわしい表現を模索していく。			
	7月					
2 学 期	9月	「紙を中心とした立体構成」	素材の特性や性格を活かしながら、空間や面や量に対する意識を持ち立体構成制作を行う。			
	10月					
	11月	「テーマのある平面構成」	課題に対して効果的な表現を模索し、完成度の高め方に対する感覚をやしなう。			
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2017年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コース		芸術	硬筆習字Ⅲ	選択	2単位	坂本浩一
教科書	プリント授業					
副教材	教育図書「ペン習字の基礎」					
授業のねらい	基本的な文字の造形を反復練習し、自己の日常書を解りやすく正確に書けるようにする。					
学習上の留意点	これから進路に向けて、小論文や志望理由書などを書く機会があると思います。その時、読みやすくわかりやすい文字は有利です。;					
評価方法	真剣に文字を書く練習に取り組む姿勢と、提出物の上達により評価します。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	平仮名の学習		平仮名とカタカナの正しい筆順と書き方。		
	5月	漢字の学習				
	6月					
	7月					
2 学 期	9月	漢字の学習(行書)		行書に慣れる。		
	10月					
	11月	漢字仮名交じりの学習		実用書の練習		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					